

令和5年度 梶中学校の教育

学校教育目標

【未来の展望を持ちたくましく生きる人間】の育成
〈具体的努力目標〉

- 基礎学力の定着・向上を図る
- 不登校生徒の減少
- 生徒の主体的活動の推進・支援

確かな学力の育成

思考・判断・表現力の育成

- 学力向上については、委員会を中心とした組織的な取り組みを行い、基礎学力の定着・向上を図る。
- すべての授業で「授業のユニバーサルデザイン」の3つの視点(焦点化・視覚化・共有化)を取り入れる。
- 教職員用タブレットも含め、一人一台タブレット端末等のICT機器の効果的な活用に向け、更に研究を進める。
- 授業で「本時のねらい」「振り返り」の時間を確保し、習得・活用及び探究すべき学習内容を定着させる。
- 放課後学習等での学習の機会の拡充、セルフスタディウィークなど家庭学習への啓発及び支援を行う。
- 朝の読書(1・2年生)の徹底を図るとともに、図書室の利活用を行い、読書好きな生徒の育成に取り組む。

豊かな人間性

人権や生命を尊重する心の教育の推進

- 特別な教科「道徳」については、全体計画・年間計画に基づく取り組みを進めるとともに、学校の教育活動全体を通しての道徳教育を進める。
- 平和教育、在日外国人教育、障がい者への理解など生命・人権を尊重した心の教育を系統的に進める。また、日本語指導が必要な生徒に対する指導法の研究を進める。
- 教育相談機能を充実させ、生徒との心のふれあいを大切にしながら、教育活動に取り組む。
- 生徒の自主的な活動が推進出来るよう生徒会活動や委員会活動を支援する。
- 学級・学年・部活動・生徒会活動等を通じて、豊かな人間性を育み、自尊感情を高める活動を進める。

健やかな心と体

最後までやり遂げる強い心と体の育成

- 学校でのあらゆる事故を未然防止するため安全指導を徹底する。
- 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の感染拡大防止を図る。
- 自ら積極的に「挨拶」の出来る生徒の育成を図ると共に啓発活動を推進する。
- 部活動や体育的行事、昼休みの活動などを通して、体力の向上を図る。
- 系統的な防災教育と防災マニュアルの検証と改善に取り組む。

研究テーマ:「主体的・対話的で深い学び(STF)の実現に向けた授業づくり」

～自分の考えを表現できる生徒を育てる～

確かな学力の育成豊かな人間性健やかな心と体のバランスの取れた教育活動の推進

信頼される学校

家庭・地域と連携した教育活動の推進

- 目指す子ども像「自律している大人」を意識した9年間を見通した教育の推進を図る。その為に、教科の教育課程の接続や校区の子ども理解を進める。その為に、コミュニティスクール・小中一貫会議等を通じて、中学校区としての教育を行う。
- 事務共同実施を通じた校区小中学校の連携を推進する。
- 学校教育評価等を活用するなど学校、家庭、地域の連携を深める。
- 学校のホームページや学校だより・学年だより等を活用し定期的かつ積極的に生徒の学校生活の様子について情報発信する。

高めあう学校

協働する教職員集団研修

- 生徒に厳しく、温かく、かわりきる教職員。
- 仲間同士信頼関係を結び、互いに助け合う教職員。
- 日々の相互参観や研究授業・研修等を受講するなど、常に自己研鑽に励む教職員。
- 仕事のスリム化を図り、アイデアを出し合う教職員。